

「広南起業PROJECT」

挑戦問題 『地域社会に貢献する起業に挑戦しよう』

本単元で育成する資質・能力

感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

期待される生徒の変容

「起業して社会貢献すること」を題材にした「広南起業 PROJECT」を通して、自己の能力や適性を活かしながら、将来を自らの力で協働して創造的に切り開こうとする志（こころの力）を身に付けるとともに、資金集めや商品開発、広報宣伝販売活動等、実際の起業活動に挑戦することで、志を叶える力を育成する。

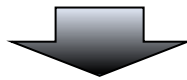
また、探究の過程で、職場体験学習等において地域の人・もの・ことと関わることにより、地域への愛着や地域の一員としての自覚が深まり、プロジェクトで得た利益を、広南学園で取り組んでいる防災プログラムの授業を行う中で課題に挙げた避難所の水や食料等の備蓄購入に役立てていきたいため、今年度は地域へ寄付することとした。

地域に全額寄付することで、社会における仕事の存在意義に気付き、社会貢献する喜びを実感させたい。

令和元年度の取組より

Before 【生徒の振り返りより】

- ・毎日宣伝することや、校外で宣伝するなんてできそうにない。
- ・今までにない新商品を作ることは難しすぎる。
- ・起業をしても自分の力では会社を支えることができない。



After 【振り返りより】

- ・様々な場所で宣伝をする機会があって、「どのように宣伝すると楽しんでもらえるか」「何を宣伝するか」ということを協力して考え、準備をし、成功したときに大きな達成感を感じました。
- ・実際に試作品を作り、失敗し、改善するというサイクルを商品の完成までに何度も繰り返しました。仲間と協力して作業し、それぞれの得意分野を生かして作業ができ、協力・協働の力がとても身についたと思います。
- ・何事にも積極的に取り組み、最後まで努力することで、挑戦・探究の面で大きく成長することができました。また、自分の能力を発揮し、社会の一員としての役割を果たすということの大切さを実感しました。



当日の販売の様子



敬老会での宣伝の様子

令和2年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・起業家から話を聞く時期が職場体験前後になってしまったので、1学期の早い段階でできるように計画を立て、4月の段階から起業企画について意識をさせる。
- ・ビブリオの後すぐに起業企画に取り組んだが、時間数がギリギリで朝の会や放課後の時間をかなり使った。総合的な学習の時間の時間配分を年度当初に考え直す必要がある。
- ・今年度は博美屋さんの紹介で三宅水産さんに協力していただいた。地元の企業に参加してもらうことで、よい宣伝効果となった。
- ・起業企画の課題を踏まえて国語科でHMⅡの提案を行ったので、今後の指導に生かす。